

# 水車

学校教育目標：「瞳を輝かせ めあてをもって やりぬく金勝っ子」  
 めざす学校：あいさつができる学校 いのちを大切にする学校 うつくしい学校  
 え顔あられる学校 おもいやりのある学校



## ゆう いぎ なつやす 「有意義な夏休みに」

こう ちょう かわなべ たかのり  
校 長 川 羽 部 隆 徳

ほんじつ ぜんきぜんはん さいしゅうび むか ほごしゃ みなさま  
 本日、前期前半の最終日を迎えました。保護者やスクールガードの皆様をはじめ、地域の皆様には、多くのご支援、ご協力をいただき、これまで、大きな事故や事件に遭遇することなく、安全に子どもたちが登下校できましたことを心から

感謝申し上げます。また、日常の学習場面や生活場面において、学校全体に落ち着いた雰囲気のおかげが感じられることを大変うれしく思います。

近頃、電車へ我先に座ろうと車内に駆け込む小学生、しかも背中を丸めて座り込んでいる子どもを見かけることがあります。また、授業中に姿勢を保つことができず、机に突っ伏しがちな子どももいます。自分の体を支える基礎的な体力がなくなってきているのではないかと心配になります。

昭和54(1979)年の小学生の歩数調査では、1日平均27,000歩程度の活動量があったけれど、約30年後の平成19(2007)年には、その半分以上の1日平均13,000歩まで活動量が落ち込んでしまったそうです。しかも歩数が多い活動的な子どもと、歩数が少なく活動的でない子どもの二極化傾向が進んでいるという分析もあります。4年後の平成23(2011)年には11,000歩と、減少傾向に歯止めがかからない状況で、コロナ禍後の現在はさらに落ち込んでいることが予想され、1日8,000歩の活動量を目標に掲げている地域もあるようです。本校は、学区が広く比較的長距離を歩いて通学している児童が多いので、大丈夫かと思いたいところですが、二極化が進んでいることは予断を許さない状況にあると推察されます。

東京都の調査によると二極化の原因には、休日や放課後の過ごし方によるところが大きいとのこと。ゲーム機やスマホの普及などさまざまな要因が考えられます。



いよいよ夏休みが始まります。学校を離れ、家庭や地域で学ぶ期間です。

子どもたちの9月からの生活や将来のために、積み重ねる41日間であることを願っています。そして、時間的に余裕があるからこそ、子どもたちが継続してできることに挑戦し、充実した日々となることを願っています。

### 【お知らせ】

- 長期休暇中、学校へ連絡が必要な際は、平日8:20～16:45にお願いします。これ以外の時間帯で、児童の命にかかわるような緊急連絡は栗東市役所へお願いします。
- 土日、祝日および8月10日(木)～8月16日(水)の学校閉校日に、緊急の連絡対応が必要な場合も栗東市役所へ連絡ください。【栗東市役所 TEL077-553-1234】